

平成24年10月9日

保護者 様

広島市立中島小学校
校長 久松 ひとみ

平成24年度 全国学力・学習状況調査の結果概要
および調査結果に基づく指導方法等の改善計画について

清秋の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育の推進にご理解・ご協力をいただきまして深く感謝いたしております。

さて、本年度4月17日に実施いたしました全国学力・学習状況調査結果の概要、および調査結果に基づく指導方法等の改善計画をまとめましたのでお知らせいたします。

	主な課題	要因
国 語	○ 話したり聞いたり、書いたり読んだりする目的や意図に応じ、複数の情報を関係付けた上で、条件に合わせながら自分の考えをまとめて記述することに課題がある。	○ 書く事柄を収集し、全体を見通して整理する力や、事実と感想、意見などを区別したり、目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりする力が十分ではない。
	＜課題解決に向けた国語科における具体的実践＞	
	① 目的や意図に応じて文を書く力を付けるために、条件を付けて文をまとめる指導を学年に応じて積み重ねていく。 ② 様々なジャンルの読書を推奨していく。	

	主な課題	要因
算 数	○ 方法の理由を言葉や数を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述することに課題がある。	○ 筋道を立てて考え、必要な数量などを求めるために情報を適切に把握し、記述していく力が十分ではない。
	＜課題解決に向けた算数科における具体的実践＞	
	① 必要な事柄を過不足なく記述できるようにするために、問題を解決するために必要な情報は何か、どのような手順で考えていけばよいのかといった解決の見通しを吟味する活動を取り入れる。 ② 図形や量感などのイメージをしっかりとめさせるために、自ら見当を付けながら操作的活動を行わせることを大切にしていく。	

	主な課題	要因
理 科	○ 観察・実験の結果を整理し、考察することに課題がある。また、科学的な言葉や概念を使用したり説明したりすることに課題がある。	○ 観察・実験の結果をもとに、グラフなどのデータから分析する力が十分ではない。
	＜課題解決に向けた理科における具体的実践＞	
	○ 観察・実験したことを表やグラフで表したり分析・考察したりすることができるように指導の工夫・改善を図る。条件を制御しながら実験を構想し、観察記録の方法を十分に確認するなど、児童自身がデータをつくり出し、表やグラフなどに整理したり分析したりして、科学的に全体の傾向を読み取って考察することができるようにしていく。	

学力向上へ向けた全校的な取組（課題解決に向けた具体的実践）

- ① 各教科において、言語活動を大切にしていく。児童の思考を引き出すような問いかけを心がけ、じっくり読んで考えたり、考えたことを書く時間を十分確保したりして、ペアトークやグループトークなどで、自分の意見を説明させる。
- ② 基礎的な学力を付けるために、繰り返し学習を行ったり、毎時間のノートのまとめ方を徹底したりして指導を積み重ねていく。